

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2022年3月1日

事業所名 パステル

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		利用者様の特性に応じて訓練室にこだわらずに対応	活動プログラムの見直しに交えて個々の障害特性を合わせて検討
	2	職員の配置数は適切であるか	△		多機能型のため協力体制	送迎スタッフや延長支援の際の保育士の確保などリクルート中
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		基本、館内バリアフリー	訓練室に畳のスペースがあるので安全配慮のためマットを敷く
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	△			広く職員が関われる体制づくり
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	△			次年度に向けて今後の体制に関するアンケート内容の検討
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページにて公開	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		eラーニングの導入	採用後の事業所内初任者研修・各種オンラインセミナー・研修会参加
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			次年度に向けてアセスメントシート・支援計画・プログラム等の総見直し中
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	△			「Vineland- II 適応行動評価尺度」の利用に向けて準備
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児童発達支援管理責任者とサフチーフ、保育士間で次年度に向けて見直し中。職籍と業務内容の整備
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	△		個々の特性に応じた内容と季節や行事に合わせた創作	活動の領域を広げるべくスタッフの食品衛生管理責任者資格の取得に向けて準備
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		個々の個別学習課題の設定	長期休暇中のプログラムについての再検討
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	△		集団での創作活動や運動を取り入れている	OMUSUBI展へ向けての集団での創作作品作
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	△		送迎車及び運転スタッフ、時間の確認等行っている	掲示して閲覧
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	終了後の時間で不十分な場合はケアコラボでの申し送り等を利用	スタッフ体制の見直しにより、より意識した取り組み
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	△		ケアコラボにてその場で写真をアップして記録ができ	家族からの反応もあり検証改善につなげている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	△			定期的なモニタリングにとどまらず必要に応じてモニタリング実施し、計画案の見直しにつなげる
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			地域との連携を深めて共生社会実現	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達管理責任者と担当スタッフでの参加もある	コロナ禍において担当者会議の開催が困難な状況があり文書開催が多い。リモートによる会議の開催の積極的な導入
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		送迎時での申し送りや連絡ノート。電話での情報収集。	送迎時の情報級や連絡のみに限らず、情報交換会の開催。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	△			現状では医療的ケアが必要な利用者様はいないが受け入れる際は医療機関と連携
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	△		担当者会議にて情報収集を行ってきた	今後も、就学前に利用していた事業所と情報共有し支援に活用
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			実習先の企業や事業所との連携を図り積極的な情報提供
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		発達障害者支援センターサポートマネージャーとの連携	研修参加と専門的な助言を収集。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		法人内に開設する第三のこどもの居場所コミュニティセンターの活用へ準備中
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		次年度に向けて準備中。相談支援専門員との連携
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		ケアラボにて写真をアップしてリアルタイムで情報発信	事業所内相談支援の積極的利用
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		研修や配信動画等、情報発信
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	△			利用開始時に説明実施。必要に応じて対応
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		お迎え時に相談に応じている。	事業所内相談支援の積極的利用
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		アンケート結果の保護者の意向に沿って対応
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付窓口スタッフと苦情受付箱の設置。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	△		ケアラボにて家族のスマホへ発信	より効果的で時間の節約を検討
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			ルビや写真等を用いて視覚的配慮
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コミュニティセンターの開設

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	△		各マニュアルの設置済み。定期的なリニューアルの見直し必要
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		災害への対応動画やプロジェクターを使用しての自然災害への対応を研修する
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止研修会、オンラインセミナー参加。次年度に向けて虐待防止委員会の設置準備
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	△		虐待防止委員会において身体拘束について組織的に検討をして計画案に掲載する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示と処方、家族との連携で対応
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの意識向上